

2023年9月1日

文部科学大臣 永岡桂子 様

新日本婦人の会中央本部  
会長 米山淳子

新日本婦人の会北海道本部  
会長 石岡伸子

## 寒冷地の学校施設への空調（冷房）設置を急ぎ実現するため、 予算を早急に大幅に増額し、設置を後押しすることを求めます

私ども、国連NGO新日本婦人の会は、1962年の創立から、子どものしあわせのため、教育環境改善などに地域で草の根からとりくんできました。

全国的に記録的な猛暑がつづくなか、北海道では8月22日に札幌も含めた27地点で35度を超える猛暑日となり、最高気温が30℃以上の連続日数も統計史上最長記録を伸ばし続けています。

こうしたなか、22日に伊達市では小学2年の児童が、体育の授業の直後に熱中症とみられる症状で倒れ、死亡するという大変痛ましい事故が起きてしまいました。

2018年7月に愛知県豊田市の小学1年生の児童が熱中症のために死亡した事故をきっかけに、政府は熱中症対策として全国の公立小中学校の各学級への空調設置に817億円を2018年度の補正予算案に計上し、寒冷地をのぞく全国ほぼすべての公立小中学校の普通教室へエアコンが設置されました。

しかし、この間の温暖化と記録的な猛暑で、北海道や東北といった寒冷地であってもエアコンがなくては子どもたちの命が危機にさらされ、安心して学校生活を送ることができない事態となっています。一部では、休校や授業短縮などの措置が取られている学校もありますが、国連のグテーレス事務局長が「地球沸騰の時代が来た」と述べたように、世界の平均気温も上昇傾向にあり、対策が急がれます。

子どもたちの命と健康を最優先に、学校施設（教室、体育館）への空調（冷房）設置を急ぎ実現するため、国の予算を大幅に増額すること、地方自治体の設置後押しし、電気代の高騰で稼働をためらうことがないよう電気代の補助もあわせて求めます。

### <要請事項>

- 1、 寒冷地への学校施設（教室、体育館）への空調（冷房）設置を急ぎ実現するため、早急に予算を大幅に増額してください。
- 1、 各地方自治体に対し通達で空調（冷房）設置を後押ししてください。
- 1、 電力消費や電気代の負担でエアコン稼働をためらうことのないよう、工事費用や電気代を補助してください。
- 1、 学校教育活動中の水分補給や塩分補給に対する公費の補助をおこなってください。